

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用高分子系仮封材料 70870002

PRGプロテクトシール

【禁忌・禁止】

本材又は安息香酸ベンジル、メタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〔構成〕

構成及び性状	成分
粉	メタクリル酸エステル重合体、ガラス粉末、反応開始材、その他
液	安息香酸ベンジル、メタクリル酸メチル、反応開始材、その他

粉の色調：アイボリー、ピンク

〔原理〕

本材は常温重合レジンで、粉と液を混合することにより、化学重合し硬化する。

【使用目的又は効果】

歯の仮封に用いる。

【使用方法等】

〔使用方法〕

本材は、粉と液を筆積法により窩洞に充填し、重合硬化する材料です。

- 1) 充填前準備
適法に従い窩洞形成後、窩洞面の水洗・乾燥を充分に行います。
- 2) 充填
採取皿に適量の粉及び液を採り、筆積法により窩洞に充填します。
- 3) 咬合調整
充填後、患者に咬合させます。口腔内で充填を開始した時点から、1分以上経過後に、余剰部分を取り除きます。（口腔内では約3分間で硬化します。）
- 4) 除去
探針などを差し込み、前後左右に少し動かしながら引くと、容易に取り外すことが出来ます。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 本材が脱落する場合があるので、窩洞内は十分に乾燥させること。
- 2) 露髄又は歯髄に近接した場合には、覆罩等の処置を行うこと。
- 3) 液は揮発性であるため、使用后、速やかに蓋を閉めること。
- 4) 取り出した粉と液は、速やかに使用し、長時間放置しないこと。
- 5) 本材の粉と液は必要量だけを取り出して使用すること。なお、余剰分は容器に戻さないこと。
- 6) ユージノール系の材料の上に本材を使用する場合には、ワセリンを塗布した上に本材を充填すること（直接充填すると、本材の硬化不良の原因となります）。
- 7) レジン成分を含む材料（ボンディング材、コア材など）の上に本材を使用する場合には、ワセリンを塗布した上に本材を充填すること（直接充填すると、除去しにくくなります）。
- 8) マトリックスを使用する場合には、マトリックスにワセリンを塗布してから使用すること。
- 9) 歯内療法処置後の仮封や1ヶ月以上に渡るような長期間の仮封などには使用しないこと。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。

- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又は安息香酸ベンジル、メタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材及び筆は、感染防止のため、同一患者内のみで使用すること。
- 5) 本材の液成分にはメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
- 6) 本材の液は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 7) 本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- 8) 本材の液又は液と粉の混和物は皮膚に付着させたり、目に入らないよう注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本材は、高温、多湿、直射日光、火気を避けて、室温（1～30℃）暗所で保管すること。
- ・本材は同一保管庫に大量に保管しないこと。
- ・本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

〔当社データによる〕

（例） YYYY-MM-DD は 使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福福上高松町 11
電話番号 075-561-1112